



「BO-SAI EXPO」に協賛・出展

## 都民生活に不可欠な 役割をアピール

東京都トラック協会「SAI EXPO 2013 in TOYOSU」の「トラックの日」(10月9日)本部イベントとして、10月5・6日に江東区の「アーバン Dock」ららぽーと豊洲で開催された「BO-SAI EXPO」に協賛・出展した。

「緑ナンバートラック」が担う役割の重要性をはじめ、東ト協の安全・環境対策の取り組みなどをアピールした。

展示ブースではパネル展示などにより、最優先課題として推進する交通事故防止への取り組みや、国内外で高い評価を得ているグリーン・エコプロジェクトを中心とした環境対策、さらには東日本大震災などの救援活動で大きな役割を果たした緊急輸送活動などについて紹介。会場では、実際に輸送活動で活躍するトラックも展示し、運転席に乗り込んで高い運転席からの視界を体験するなど、実物のトラックに親しんでもらった。

5日には、綿引正明専務理事がTBSラジオの生放送や東京MXテレビの取材を受け、トラック輸送が都民生活のライフラインの役割を担っていることなどを強調した。

初日は小雨もようだったが、2日間にわたって多くの人たちが家族連れで来場。「10月9日は何の日でしょう?」といった簡単なトラック・クイズを行い、訪れた人たちに「トラックの日」の周知・PR活動を積極的に展開した。

また、渋谷センター街の屋外ビジョンに加え、新たな試みとして「ゆりかもめ」などへの電車内広告やシネアド(映画館でのCM上映)により、トラック輸送の果たす役割とともに、「トラックの日」の周知・PR活動を積極的に展開した。

## 中型免許緊急調査 提出期限10月15日

全ト協

安全ノベルティとして、アニマル反射板をプレゼントした。

本部イベントの実施に当たっては、朝日、読売毎日、東京、日刊工業新聞の5紙に広告(全5段)を掲載した。

また、渋谷センター街の屋外ビジョンに加え、新たな試みとして「ゆりかもめ」などへの電車内広告やシネアド(映画館でのCM上映)により、トラック輸送の果たす役割とともに、「トラックの日」の周知・PR活動を積極的に展開した。

## 東ト協「燃料高騰対策本部」を設置

東ト協は、大高一夫会長を本部長とする「燃料高騰対策本部」を設置し、今後、全日本トラック協会と連携し、燃料高騰経営危機の克服のための諸施策を推進する。

対策本部は9月30日付で設置したもので、大高会長を本部長に、各副会長と専務理事を副本部長とする。同日に開催した正副会長会議で、設置要綱などを承認した。

具体的には、全ト協対策本部と連携して、燃料高騰対策補助制度の創設

## 燃料高騰対策本部

東ト協は、大高一夫会長を本部長に、各副会長と専務理事を副本部長とする。同日に開催した正副会長会議で、設置要綱などを承認した。

具体的には、全ト協対策本部と連携して、燃料高騰対策補助制度の創設

近代化基金融資金利 1・20%に引き下げ

近代化基金融資の貸出金利が10月10日から0・10%引き下げられ、1・20%となった。長期プライムレートの変更に伴うもの。

燃料高騰対策本部の看板を設置

や軽油引取税の減税などを求める要望活動を展開するとともに、燃料サーチャージの導入促進のための施策を推進する方針。

## 軽油高騰対策訴える 補助金や旧暫定税率廃止を

東京都トラック協会は10月2日、自民党東京都支部連合会(会長・石原伸晃環境大臣)に、平成26年度税制改正等に関する要望書「提出し、特に最近の燃料高騰で「事業存続の危機」にあるとして、補助制度創設や軽油引取税の旧暫定税率廃止などを訴えた。

自民党本部で開催された26年度国家予算・税制改正等要望聴取会に、大高一夫会長をはじめ各副会長、税制金融副委員長らが出席し要望したもので、自民党都連からは菅

## 東ト協 自民党都連に要望



求めた。要望内容については、浅井隆副会長(税制)

原一秀会長代理らが出席。冒頭、大高会長が「規制緩和以降、運賃が下落する一方、安全・環境規制の相次ぐ強化で大幅なコスト増大が続く。事業が続き、事業経営は悪化の一途」と訴え、この中で燃料高騰が経営を直撃しているとして、業界要望に理解を

求めた。要望内容については、浅井隆副会長(税制)

金融委員長が説明した。重点要望事項は、税制改正関連では①自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現(軽油引取税の旧暫定税率廃止、自動車重量税の廃止もしくは道路特定財源への位置付け)②石油炭素税に係る「地球温暖化対策のため

の課税の特例」について還付措置適用③中小企業投資促進税制の拡充・延長④トラック協会運営の地域防災・災害対策関連施設に対する固定資産税の軽減措置適用。

予算関連では①燃料価格高騰に対する補助制度創設②高速道路料金の終日基本料金の半額化および大口・多頻度割引の拡充による70%割引の実現③北海道・本州間のフェリー等利用に対する補助・助成の創設④省エネ・環境問題に対処するための補助・助成の創設(天然ガストラックに対する補助の継続・拡充および創設、エコタイヤに対する補助・助成

の創設、先進環境対応型ディーゼルトラックへの代替補助の創設など。また特別要望として、運輸事業振興助成交付金について、基本理念に基づき、適正な交付額が確保されるよう要望した。

浅井副会長は、特に軽油引取税について、「一般財源化されたのに、我々だけが負担するのはおかしい」と訴え、燃料高騰対策の観点からも旧暫定税率の廃止を強く求め、あわせて平成20年当時のような補助制度の創設を要望した。

こうした要望に対し、菅原会長代理をはじめとした自民党都連側は、燃料高騰対策に関して、サーチャージ導入をめぐる「現場の環境は厳しいも

## 東商1号議員選挙 6位で上位当選果たす



東商1号議員(定数76人)は、会員・特定事業者の直接選挙で選任されるもので、会頭・副会頭の選任や予算・決算をはじめ、重要事項の審議決定などで中心的役割を担っている。任期は3年。

大高氏は、東京のトラック運送業界を代表する形で立候補していたもので、東ト協では選挙対策本部を組織し、2期目の当選を全面的に支援して

した。今回で2期目となる。東商1号議員(定数76人)は、会員・特定事業者の直接選挙で選任されるもので、会頭・副会頭の選任や予算・決算をはじめ、重要事項の審議決定などで中心的役割を担っている。任期は3年。

大高氏は、東京のトラック運送業界を代表する形で立候補していたもので、東ト協では選挙対策本部を組織し、2期目の当選を全面的に支援して

いた。トラック運送業界では、適正運賃収受をはじめとした運送取引の適正化や、事業規制見直しへの対応などが大きな課題になっているが、これら課題の克服のためには、業界の実態や主張を広く経済産業界に発信し、理解を得ていく必要がある。

こうした中で、引き続き業界の代表が上位当選を果たし、発言力を高め、いくことにより、トラック運送業界はもとより、中小企業の振興・発展に寄与していくことが期待される。

紙面あんない

荷主とのパートナーシップセミナー

各支部「トラックの日」イベント

秋の交通安全運動、統一街頭活動

多摩支部が交通事故・労災防止大会

東京運輸支局・自動車運転者表彰

7 6 5 4 3

古紙パルプ含有率80%再生紙を使用

# 駐車取り締まり「異聞」

平成18年施行の改正道路交通法により、放置駐車取り締まりが強化されて7年余。最近、駐車監視員による取り締まり(放置駐車違反の確認)のあり方について、疑問を呈する声が増えている。

そもそも、放置駐車による交通渋滞の緩和や事故防止を目的として実施されたものだが、あつたかも確認実績の確保を狙ったかのような、本来の目的にそぐわない、取り締まりがなされている

## 監視員活動のあり方に疑問も

## 施行状況を検証すべき時期に

トラック運送業界から、その取り締まりのあり方については疑問の声が聞かれる。ごく短時間でも車両を離れていると駐車違反とされてしまうため、なかなか年間60回も取り締まりを受けた事業者もいるという。実に、週に1回以上だ。

東京都トラック協会の実態調査によれば、車両を離れている時間が3分、5分以内で取り締まりを受けた件数が全体の約4割にもなる。

集配業務は多くの場合、おおむね決まった時間帯に行われるため、駐車監視員にとっては、い

さらに、放置駐車が問題視されていた主要な道路ばかりでなく、裏通りでも取り締まりが行われていることも聞く。

よほど交通に支障を来しているのなら、話は別だが、そこまでやる必要が、果たして本来の目的に沿った取り締まりのあり方なのか。甚だ疑問、と言わざるを得ない。

集配には駐車・荷捌きが付き物だが、集配先への施設や場所が確保されていない場合が多いのが実状だ。一方で、ごく短時間でも車両を離れていると取り締まりを受ける可能性があるため、運転者は絶えず、そのリスクを覚悟しながら仕事をせざるを得ないという、「板挟み」状態にある。

(Y)

# 全ト協 太田国土交通大臣に軽油高騰対策を要望



太田国土交通大臣(中央)に対し、全ト協の星野会長(右から3人目)や大高副会長(左から2人目)らが緊急対策を要望

全日本トラック協会は10月2日、国土交通省の太田昭宏大臣に対して平成26年度税制改正・予算について要望し、特に軽油価格の高騰・高止まり

が業界の事業経営を大きく圧迫していること、油価格の高騰・高止まり、早急に緊急対策を講じるよう訴えた。

最近の軽油高騰により、4年前に比べて業界全体で年間約6400億円も燃料コストが増大し、事業経営を圧迫している窮状を訴え、軽油引取税の旧暫定税率廃止または一時凍結と、燃料高騰対策補助制度の創設を要望した。

あわせて、増大する燃料コストの価格転嫁のため、燃料サーチャージ導入促進に向けた対策を求めた。

さらに、石油石炭税に係る「地球温暖化対策のための課税の特例」の選

東ト協は再三、営業用トラックに対する駐車規制の緩和や駐車・荷捌き施設の整備促進を要望しているが、その背景には、こうした事業者が対応に苦慮する実態があるから

だ。疑問視される駐車監視員の取り締まりの仕方についても、活動ガイドラインの見直しを訴えている。

ところで、駐車規制強化の翌年に施行された改正運転免許制度は、ようやく中型免許要件などの見直しに向けて検討が始まった。

駐車規制の強化策は、既に一定の成果を上げていくとされるが、一方で取り締まりの仕方などの問題が指摘されるだけに、そろそろ施行状況や影響などについて、検証する必要があるのではないか。

## 国土副大臣

# 高木、野上氏が就任

政府は9月30日の臨時閣議で、各省庁の副大臣・政務官人事を決定し、国土交通副大臣に新たに、高木毅衆議院議員(福井3区・当選5回、57歳)と、野上浩太郎参議院議員(富山県選挙区・当選2回、46歳)が就任した。

また、国土交通大臣政務官には土井亨衆議院議員(宮城1区・当選2回、55歳)と、中原八一参議院議員(新潟県選挙区・当選1回、54歳)が就任した。

なお、坂井学政務官(兼復興大臣政務官)は留任。



高木氏

野上氏

## 関東運輸局人事

10月1日 群馬運輸支局長(東京運輸支局長 高橋哲哉)▽東京運輸支局長(交通環境部物流課長)近藤基了▽交通環境部物流課長(神奈川運輸支局長)小堤健司

## 国交省自動車局

### 事故報告書 取扱い通達改正

国土交通省自動車局は、9月20日付で「自動車事故報告書の記入等の取扱いについて」(通達)を一部改正した。

自動車事故報告書について、原則として事故発生日から30日以内に提出しなければならないが、発生日から30日を超えた日において、新たに重傷などに該当することを「知った」場合には、その時点から、遅滞なく報告書を提出できるように改正したもの。

## 25年度第1回 運行管理者試験(貨物)

### 合格者は583人

運行管理者試験センターは9月24日、平成25年度第1回運行管理者試験(貨物)の合格者を発表しました。全国の合格者は5815人(合格率19.3%)で、このうち東京会場で受験した合格者は583人(同23.8%)。全国の合格者のうち実務経験者は2740人(同14.8%)、講習受講者は3075人(同26.4%)。東京会場の合格者のうち実務経験者は308人(同19.4%)、講習受講者は275人(同31.9%)だった。



NGVを選ぶことが地球の未来を変える。



- 天然ガスを燃料とするNGV(天然ガス自動車)は、燃料多様化によりエネルギーセキュリティに貢献
- 天然ガスの可採年数は250年程度(出典:IEA World Energy Outlook 2011)
- 天然ガスは燃やしてもSOxや黒煙を発生しないクリーンなエネルギー

# 40000台突破

日本の天然ガス自動車普及台数は、4万台を突破いたしました。(10/20/2013)



# 関運局・関ト協 取引適正化など 課題克服へ

## 荷主とのパートナーシップ構築セミナー

関東運輸局と関東トラック協会(会長・大高一夫東京都トラック協会)は11月5日、運送取引の適正化など業界課題の克服に向けて「トラック事業者と荷主とのパートナーシップ構築セミナー」を開催する。

時間は午後1時30分から4時まで、会場は東京商工会議所ビル7階の国際会議場(千代田区丸の内3の2の2)。参加費は無料。参加対象は経

濟団体および荷主企業(150人)と、トラック運送事業者(150人)。国土交通省では、トラック運送事業における適正取引の推進に向けて、運送業務や付帯業務の内容などを画面化することなどを義務付ける方針で、今年度内に制度改正を行う予定。また最近の燃料高騰対策として、燃料サーチャージ導入促進に取り組んでいる。

セミナーは、こうした取引適正化をはじめ、燃料サーチャージ導入や労働災害防止などの課題克服に向けて、荷主企業とトラック事業者が連携し

て対応することを目的に実施するもの。

セミナーでは、関東運輸局が最近のトラック行政に関する課題、関ト協がトラック運送業における燃料サーチャージ導入促進への取り組み、また東京労働局が労働災害防止について、それぞれ説明する予定。

セミナー終了後、これから問題に関する相談窓口を設置する。

なお、セミナーは関東経済産業局 東京労働局・関東商工会議所連合会・東京商工会議所・全日本トラック協会が後援。

▽問い合わせ先 関東支部連絡部支部連絡課 (03・33359・413)

# 点描 運輸

## 正念場の燃料高騰転嫁対策

最近の軽油価格の高騰・高止まりを受けて、全日本トラック協会は9月13日付で「燃料高騰対策本部」を設置し、年末にかけて「燃料サーチャージ導入促進運動」を展開する方針だ。これまで以上に強い姿勢で取り組む構えだが、場合によっては、来年度からの消費税増税の転嫁にも影響するおそれがあるだけに、転嫁してしかるべきコストは、業界として「転嫁を求めると」という強い姿勢を、この機に示しておく必要があると見られる。

航空運賃などの場合、燃料価格が一定の水準以上に上昇すれば、燃料サーチャージを設定し取受することが当たり前になっているが、トラック運送業界では、依然として、普及・定着していないと言われているのが実状だ。

とりわけ、近年は中東の政情不安・紛争や投機資金の影響により、原油価格が乱高下を繰り返し、業界は価格高騰のたびに、それに伴う燃料コスト増の直撃を受け、対応に追われてきた。

燃料価格が史上最高値を更新した平成20年当時、国土交通省は緊急対

策として補助金制度を創設するとともに、燃料コスト増分の適正な運賃への転嫁を進めるため、「燃料サーチャージ緊急ガイドライン」を策定し、通達として発出した。

行政として、燃料サーチャージ制度導入を後押ししたわけだが、その結果は、残念ながら、あまり導入は進まなかった。確かに、業界大手を中心に導入の動きが見られたが、中小事業者においては、その導入はごく一部にとどまった。

言うまでもなく、取引先の荷主との関係により、燃料サーチャージ

## 今度こそサーチャージ導入を 消費税増税の転嫁にも影響が

導入について、取引先の理解を得ることが難しいから。導入を申し出たら、取引を打ち切られたケースなどもあるため、導入要請には二の足を踏まざるを得ず、仮に導入しても、実質的に取受することが困難視されるためだ。

そして定着・普及を見ないまま、再び、今回の燃料高騰に見舞われたわけだ。

全ト協はこれまでにない強い姿勢で、燃料サーチャージの導入促進に取り組む方針だが、残念ながら、だからと言って、今度こそ導入が進む保証はどこにもない。

確かに、業界や行政の協力要請に対して、荷主側も業界団体としては一定の理解を示しても、個別の取引においては、それほど簡単に導入に応じるとは思えないからだ。

業界としては、行政に導入のための強い措置を期待したいところだが、残念ながら、導入できるかどうかは、やはり個々の事業者の取り組み次第にならないと見られる。

荷主の理解を得るのは容易ではないことは確かだが、しかし、だからと言って、今回ばかりはあきらめてはいるわけではないのか。

これだけの高値水準にもかかわらず、燃料サーチャージなどによる転嫁を申し出ないのであれば、次の高騰時にはもう要請しにくくなってしまおうそれがある。

荷主側とすれば「これまで転嫁せずに対応できなかったから、今回も」となりかねない。

さらに、懸念されるのは来年度からの消費税増税への対応だ。転嫁対策法が講じられ、外税表示が認められるとはいえ、スムーズに運賃転嫁ができるのかどうか。

杞憂に終わればよいのだが、今回の燃料高騰を機に、業界としてしかるべきコストは燃料サーチャージなどにより転嫁するとう、毅然とした姿勢を示しておかないと、来るべき消費税増税の転嫁もおぼつかないことになりかねない。

(ライター 山上達三)

## 近代化基金 補完融資 追加公募 11月29日まで

### 全ト協

全日本トラック協会は、第37回中央近代化基金補完融資の追加公募を実施している。公募期間は11月29日まで。公募推薦は70億円。

融資推薦対象は、各都道府県トラック協会に加入している貨物自動車運送事業法の許可を受けた運送事業者と、その共同資金を含む。

の貨物自動車運送事業者に係る資金調達を行う場合に限り、で、商工組合中央金庫の取引資格がある事業者(予定を含む)。

対象事業は①トラックターミナル・配送センターなどの物流施設の整備に要する資金/近代化・合理化のための事務機器(コンピュータ・ファクシミリ・複写機・MCA機器・ソフトウェアなど)の設置購入に要する資金/設備の「補修・改修」に要する資金を含む②福利厚生施設の整備に要する資金③荷役機械購入に要する資金④物流効率化に直結する新規施設の場合、同施設に付帯する事務機器などの購入資金を含む。

## ABS 装着義務化 トラック全車種に 国交省

国土交通省自動車局は、自動車の安全性向上および国際的な基準への調和の観点から、トラック・ト

ただし、車両購入および改造は除く。

融資を受けた事業者に対して、全ト協が年0.6%の利子補給を行う。

申し込み先は所属の各都道府県ト協。なお、融資条件など公募要綱の詳細は、全ト協ホームページを参照。

レーラなどの制動装置として、EVC(車両安定性制御装置)車両横滑り時制動力・駆動力制御装置)を一部の車種に義務付けるとともに、ABS(アンチロックブレーキシステム)の装着義務付け対象を全車種に拡大する。

「道路運送車両の保安基準第二章及び第三章の規定の適用関係の整理のため必要な事項を定める告示の規定に基づく国土交通大臣が定める自動車等について(依命通達)を一部改正したもので、8月30日付で施行。

義務付け適用時期については、新型車は平成26年11月1日以降、継続生産車は29年9月1日以降、車種に応じて順次義務付

カメラは見ていた。その瞬間を!

YAZAKI

**ドライブレコーダー**

を付けてみませんか?

ご希望がございましたら、ご連絡下さい。

矢崎エナジーシステム 特約販売店

**世田谷サービス株式会社**

本社 03-5727-1600  
板橋(営) 03-5916-3557  
ホームページ http://www.setagaya-yss.co.jp  
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

「知事指定薬物」  
4薬物を新規指定  
東京都福祉保健局はこ

なお、EVCは既に大型車で標準装備化が進んでいる。

のほど「東京都薬物の濫用防止に関する条例」に基づき、都内で濫用またはそのおそれがある「知事指定薬物」として、4薬物を新規に指定・公示した。

新規指定の薬物はいずれも通称で、①MPHP②α-PHP③A-836339④α-PBPピペリジンアナログ。都では、いわゆる「違法(脱法ドラッグ)」について、麻薬や覚醒剤と同様に大変危険な薬物として、摂取・使用しないよう注意喚起している。

●保安基準大幅改正・改訂 発売中!!

改訂19版 (平成25年4月刊)

**保安基準ハンドブック**

定価 1,575円(税込)

平成25年版

**自動車六法**

定価 5,775円(税込)

(株)輸送文研社 <柏林書房>  
TEL.03-3861-0291(代) FAX.03-3861-0295

# 10月9日は「トラックの日」



中央支部

【9月26日(木)】  
【中央支部】  
(永井寛泰 支部長)

東京都・中央区・中央警察署主催の「自転車マナー向上キャンペーン・セーフティサイクルパレード」に協力し、日本橋南詰め交差点に設けられた特設会場周辺でノベルティを配布。一日警察署長を務めた女優の高島礼子さんをひと目見ようと集まった多くの観衆に、ウエットシートや支部で用意したハンドタオルなどを手渡し、交通安全とともに「トラックの日」をアピールした。

【9月29日(日)】  
【豊島支部】  
(玉井 忠之 支部長)



豊島支部

池袋駅そばの池袋西口公園で開催された第46回「ふくろ祭り」に協力。支部のメンバーが、訪れた見物者や駅利用者に向けて見物者や駅利用者向けのウエットシートやハンドタオルなどを手渡し、「緑ナンバートラック」の役割をアピールするとともに、交通安全を呼びかけた。

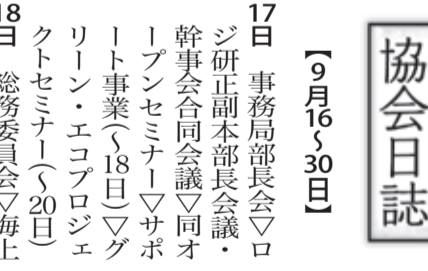
【10月5日(土)】  
【多摩支部】  
(星信久 支部長)



品川支部

取り進む「緑ナンバートラック」をアピール。あいにくの雨天のため、同イベントは中止に。

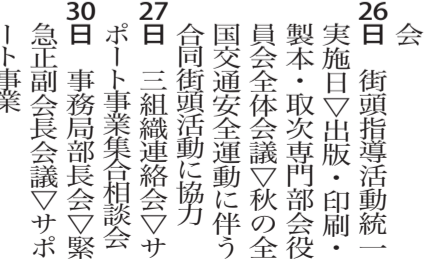
【10月6日(日)】  
【城東支部】  
(鈴木健之 支部長)



城東支部

第29回江東区民まつり砂町地区大会のオープニングを飾るパレードに今年も参加。揃いの帽子とベスト姿の支部メンバーが、巨大な横断幕を掲げて清洲橋通りを行進し、警察署の警察官や交通少年団の子供たちの協力に

【10月6日(日)】  
【葛飾支部】  
(野口敏男 支部長)



葛飾支部

京成柴又駅から柴又帝釈天までの参道で、亀有警察署の警察官や交通少年団の子供たちの協力に

【9月24日(火)】  
【中野支部】  
(秋原修司 支部長)



中野支部

新中野駅の鍋屋横丁交差点で、「10月9日はトラックの日」とアピールするノボリ旗などを掲出してPR活動を実施。野方警察署の協力により、歩行者や交差点を通行する車両に本部ノベルティのウエットシートや、支部オリジナルのタオル、ゴミ袋、事故防止啓発チラシなどを配布し、「トラックの日」のPRとあわせて、事故防止を呼びかけた。

【9月26日(木)】  
【新宿支部】  
(鈴木一末 支部長)



新宿支部

秋の全国交通安全運動の全国交通安全運動

【10月5日(土)】  
【品川支部】  
(竹ノ内実 支部長)



多摩支部

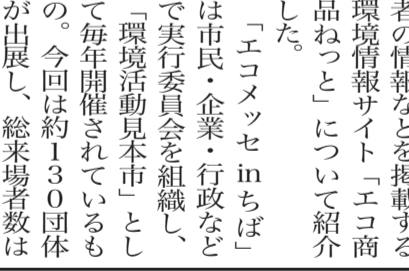
「トラックの日」をPRする横断幕を付けたトラック10台で、支部事務局から大井町駅まで隊列走行するとともに、同駅中央出口コンコースでノベルティを配布。大井警察署の警察官や「ピーポくん」とともに交通安全を呼びかけ、事故防止に

【10月5日(土)】  
【品川支部】  
(竹ノ内実 支部長)



多摩支部

【10月5日(土)】  
【品川支部】  
(竹ノ内実 支部長)



多摩支部

## 東ト協「緑ナンバートラック」をアピール

文京支部



文京支部

多摩支部

多摩支部

東ト協は、9月28日に千葉市・幕張メッセ国際会議場で開催された「エコメッセ2013 in ちば」にブース出展し、グリーン・エコプロジェクト(GEP)の活動内容や、取り組み成果などについて紹介した。GEPは国内外で注目されているプロジェクトだけに、出展ブースには多くの来場者が訪れ、活動内容の紹介とあわせて、クイズやノベルティの配布など



「エコメッセ in ちば」は市民・企業・行政などで実行委員会を組織し、「環境活動見本市」として毎年開催されているもの。今回は約130団体が出展し、総来場者数は1万人を超えた。

## 東ト協GEP「エコメッセ」にブース出展・PR

東ト協は、9月28日に千葉市・幕張メッセ国際会議場で開催された「エコメッセ2013 in ちば」にブース出展し、グリーン・エコプロジェクト(GEP)の活動内容や、取り組み成果などについて紹介した。GEPは国内外で注目されているプロジェクトだけに、出展ブースには多くの来場者が訪れ、活動内容の紹介とあわせて、クイズやノベルティの配布など

【10月16日(日)】  
【新会員】  
東和運送株式会社  
江川川区臨海町2の4の1、東京支店 03-5676-3240  
一般貨物(普通車6台)  
◆信栄興業株式会社  
江川川区中葛西5の41の27の1302 03-5675-3065  
一般貨物(普通車3台、小型車2台)

●東ト協本部事務局人事  
退職(適正化事業部適正化事業課課長 田中純一)  
(9月30日)

## 新会員

村田 誠氏(村田運輸 代表取締役・中野支部)  
9月24日、心不全のため死去、62歳。通夜は9月27日、告別式は同28日にいづれも中野区の福寿院で。喪主は弟の清氏。  
野村 良昭氏(野村運 送代表取締役・中野支部)  
9月28日に死去、76歳。通夜は10月3日、告別式は同4日、それぞれ新宿区上落合の落合斎場で。喪主は子息の昭夫氏。

## お悔やみ 申し上げます

お悔やみ申し上げます

## 協会日誌

【9月16(30日)】  
17日 事務局部長会△ロジ研正副部長会議・幹事会合同会議△同僚・一歩セミナー△サポーター事業(18日)△グリーン・エコプロジェクトセミナー(20日)  
18日 総務委員会△海上コンテナ専門部会定例  
19日 街頭指導活動統一実施日▽出版・印刷・製本・取次専門部会役員会全体会議▽秋の全国交通安全運動に伴う合同街頭活動に協力▽サポーター事業(25日)  
20日 指導監査▽サポーター事業▽海上コンテナ専門部会法令遵守活動に関する説明会  
21日 事務局部長会△事故防止委員会正副委員長会議▽秋の全国交通安全運動に伴う合同街頭活動に協力▽サポーター事業(25日)  
22日 総務小委員会△紙  
23日(水) 10時 事故防止委員会正副委員長会議(東ト総合会館)▽14時 物流経営士課程開講式(同)▽15時 同記念講演(同)  
24日(木) 16時 三組織連絡会(東ト総合会館)  
25日(金) 関東トラック協会青年部会研修見学会(横浜港諸施設)  
26日(土) 17時 青年経営者研修交流会(東ト総合会館)

## 日程ボード

【10月16(31日)】  
16日(水) 11時 海上コンテナ専門部会定例業務委員会(日本コンテナ輸送)▽14時 資材燃料委員会(東ト総合会館)▽東京支店・新島村合同総合防災訓練(江東区)▽ロジ研温故創新セミナー(ベトナム・カンボジア、20日)  
21日(月) 東ト協チャリテ

## 役員会

役員会△東京運輸支局・街頭検査に協力  
19日 広報小委員会  
20日 指導監査▽サポーター事業▽海上コンテナ専門部会法令遵守活動に関する説明会  
24日 事務局部長会△事故防止委員会正副委員長会議▽秋の全国交通安全運動に伴う合同街頭活動に協力▽サポーター事業(25日)  
25日 総務小委員会△紙  
26日 街頭指導活動統一実施日▽出版・印刷・製本・取次専門部会役員会全体会議▽秋の全国交通安全運動に伴う合同街頭活動に協力  
27日 三組織連絡会△サポーター事業集合同談会  
30日 事務局部長会△緊急正副委員長会議▽サポーター事業

## パルプ専門部会役員

パルプ専門部会役員

### 東ト協 20支部が都内51か所で

## 秋の全国交通安全運動 統一街頭活動を展開



東京都トラック協会は平成25年度秋の全国交通安全運動期間中(9月21～30日)の9月26日、街頭指導活動の統一実施日として、各支部が歩調を合わせて都内各所で街頭活動を行い、交通安全を呼びかけた。

同日は、20支部が通勤・通学時間帯などを中心に、それぞれ地域の主要駅前や交差点など延べ51か所で街頭活動を実施した。

また墨田支部(追川晃

北支部(上野紀一支部長)は同日午後、J R田端駅前、R錦糸町駅近くの錦糸公園前交差点付近で、本所署の警察官とともに街頭活動を行った。

駅前には「交差点 人とバイクに要注意」「飲酒運転撲滅運動」と記したのぼり旗を掲出し、駅利用者やドライバーやバイク乗りなどに「ヘルメットを必ず着用し、安全にご協力を!」と呼びかけた。

また墨田支部(追川晃

### ロジ研 オープンセミナー開催 「アベノミクス」の課題に論及

東ト協ロジステイクス研究会(松本有司本部長)は9月17日、東ト総合会館で第1回オープンセミナーを開催し、東ト協三組織のメンバーや業界関係者だけでなく、学生をはじめ一般からも多数が参加した。

松本本部長は冒頭あいさつで、2020年五輪の東京開催決定に「開業までにインフラ整備やエネルギー問題がある。運送業界ではト

「今後の世界情勢と日本」が減少するなど、今後の物流を支えていく上で問題を抱えている」と指摘。「今回のセミナーが、今後、業界が生き残っていくための指針を示すものとなることを期待する」と述べた。

セミナー第一部では、作家で経済評論家の三橋貴明氏が「安倍政権の政策の見方」、第二部では評論家の中野剛志氏が

「不足が懸念される」と指摘した。

中野氏は「わが国の失われた20年は、ケインズ主義と反対のことを2度続けた結果だ。デフレから脱却しない限り、わが国の財政健全化はあり得ない」と解説。「アベノミクスの『3本の矢』は正反対のデフレ時とインフレ時の施策が交ざっている点で問題だ」と指摘した。

ロジ研では今年の年間テーマに「持続性の実現」を掲げており、今回のセミナーをはじめ各種研修活動を行い、来春にはこれまででの活動の集大成として「オビニオン」を取りまとめる予定。

「エコ商品ねっと」 貨物運送12社の情報公開 ～東ト協会員6社～

グリーン購入ネットワーク(GPN)は9月30日から、GPNが運営する環境情報サイト「エコ商品ねっと」で、「輸配送(貨物自動車)契約ガイドライン」に基づき、掲載要件をクリアした、貨物運送事業者12社の環境情報を公開している。

荷主が環境負荷削減に積極的に取り組む運送事業者を優先的に採用する日本初の仕組みとなるもので、「ガイドライン」を制定後、初の情報公開。掲載企業は、東京都貨物運送評価制度やグリーン・エコプロジェクト参加など燃費取り組みの第三者評価(1)とISO・グリーン経営認証など環境経営の第三者評価(2)により、タイプA(1+2)取得・タイプB(1)のみ取得・タイプC(2)のみ取得の3タイプに分類される。今回の掲載企業のうち、東ト協会員はタイプA・大出運輸・SBSロジコム・金城運輸・大徳運輸のみで、興業・タイプB・三急運輸の計6社。情報登録・更新は3・6・9・12月の年4回、各月末に公開する予定。GPNでは、キャンペーンを展開し「エコ商品ねっと」への掲載促進を図っていく方針。キャンペーン期間中は、今年度の会費を免除し、掲載料6千円で掲載できるほか、会員加入しなくても情報掲載が可能。

【問い合わせ・申し込み先】 東ト協教育研修部 ☎03・3359・4137 FAX03・3359・6020

### 東ト協 「追突事故防止マニュアル」活用セミナー

東ト協は9月18・19の2日間、東ト総合会館で国土交通省が作成した「トラック追突事故防止マニュアル」活用セミナーを開催した。トラック事故の多くを追突事故が占めるだけに関心が高く、両日とも会員事業者が多数参加した。

国土交通省が昨年、総合的

安全対策推進の一環として取りまとめたもので、その活用セミナーとして、今年度初めて開催された。

冒頭、東ト協の井出廣久常務理事があいさつ。会員関与の死亡事故が前年より増加しており、「昨年未だから多発傾向にある」と注意を促し、交差点での左右の安全確認の励行など、改めて事故防



止の徹底を呼びかけた。

セミナー第一部ではマニュアル作成の事務局を担当した、東京海上自動車リース事業部自動車の阿部光一郎主任研究員が講演。阿部氏は、事業用トラ

ックでは人身事故の約半数が追突事故と多く、その発生率は自動車事故全体の3倍、平均損失額は1.6倍などのデータを示しながら、追突事故防止対策の重要性を指摘。その上で経営者・現場管理者・ドライバー向けの各マニュアル活

用方法について具体的な事例を交えながら説明した。特に、経営トップ自らがマニュアルの要点を把握し、社内安全意識の徹底を図ることが重要と強調した。

第二部では、少人数のグループで、マニュアルを活用した安全対策に関する情報交換。

それぞれ自社の安全目標や達成のための取り組みを発表し、意見交換を通じて、今後の安全対策

について再検討した。参加者には受講証が交付され、同セミナーの受講は、安全性優良事業所(Gマーク)認定申請の審査に際し、加点の対象となる。

なお、「追突事故防止マニュアル」は、国土交通省自動車総合安全情報ホームページ(http://www.mlit.go.jp/idosha/anzen/index.html)からダウンロード可能。

プロドライバーがかかりやすい生活習慣病の予防に関する基礎知識をわかりやすく解説し、具体的な予防策を紹介。

▽研修1(午後1時30分～3時)「プロドライバーのための生活習慣病対策」生活習慣病予防にに向けたポイントと具体策(講師:ベネフィット・ワン・ヘルスケアの管理栄養士、田中晶子氏)。

▽研修2(午後3時15分～4時45分)「トラック運輸産業の実情・実態、Q&A」継続雇用の留意点と賃金制度等の検証(講師:グローアツ・社会保険労務士法人の社会保険労務士・運輸業界コンサルタント、岡本重信氏)。

高年齢者の継続雇用の方策を探るとともに、リスクの高い解雇・賃金トラブルなどへの対処・解決法を解説。

参加申し込みは、出席連絡票に記入の上、FAX(03・3351・8790)送信。参加費無料。

▽問い合わせ先 東ト協支部連絡部施設管理課(03・3359・4133)。

「エコ商品ねっと」 貨物運送12社の情報公開 ～東ト協会員6社～

グリーン購入ネットワーク(GPN)は9月30日から、GPNが運営する環境情報サイト「エコ商品ねっと」で、「輸配送(貨物自動車)契約ガイドライン」に基づき、掲載要件をクリアした、貨物運送事業者12社の環境情報を公開している。

荷主が環境負荷削減に積極的に取り組む運送事業者を優先的に採用する日本初の仕組みとなるもので、「ガイドライン」を制定後、初の情報公開。掲載企業は、東京都貨物運送評価制度やグリーン・エコプロジェクト参加など燃費取り組みの第三者評価(1)とISO・グリーン経営認証など環境経営の第三者評価(2)により、タイプA(1+2)取得・タイプB(1)のみ取得・タイプC(2)のみ取得の3タイプに分類される。今回の掲載企業のうち、東ト協会員はタイプA・大出運輸・SBSロジコム・金城運輸・大徳運輸のみで、興業・タイプB・三急運輸の計6社。情報登録・更新は3・6・9・12月の年4回、各月末に公開する予定。GPNでは、キャンペーンを展開し「エコ商品ねっと」への掲載促進を図っていく方針。キャンペーン期間中は、今年度の会費を免除し、掲載料6千円で掲載できるほか、会員加入しなくても情報掲載が可能。

輸配送シンボルマーク運用開始

GPNは「ガイドライン」に基づき、一定の要件を満たす荷主企業や運送事業者が、自社の環境対策のアピールに活用できる「GPN輸配送シンボルマーク」の運用を開始した。

### 三組織通信

ロジ研(女性部)青年部

東ト協 第1回 経営者実務セミナー

11月5日開催

東ト協は11月5日、平成25年度第1回経営者実務セミナーを開催する。時間は午後4時30分から6時30分まで。会場は東ト総合会館4階会議室(6階研修室から変更)。

今回のテーマは「小さな運送・物流会社のための『プロドライバー』を育てる3つのルール～業績アップの秘訣は、ドライバー育成にあり!」。講師はナルキュウの酒井誠代表取締役。対象は会員事業者の経営者・管理者で、定員は70人(先着順で1社1人優先)。参加費は無料。参加申し込みは10月29日まで。申し込み方法は参加申込書に記入の上、FAX送信する。

### 経営トップの対応が重要

トラックでは人身事故の約半数が追突事故と多く、その発生率は自動車事故全体の3倍、平均損失額は1.6倍などのデータを示しながら、追突事故防止対策の重要性を指摘。その上で経営者・現場管理者・ドライバー向けの各マニュアル活

用方法について具体的な事例を交えながら説明した。特に、経営トップ自らがマニュアルの要点を把握し、社内安全意識の徹底を図ることが重要と強調した。

第二部では、少人数のグループで、マニュアルを活用した安全対策に関する情報交換。

それぞれ自社の安全目標や達成のための取り組みを発表し、意見交換を通じて、今後の安全対策

プロドライバーがかかりやすい生活習慣病の予防に関する基礎知識をわかりやすく解説し、具体的な予防策を紹介。

▽研修1(午後1時30分～3時)「プロドライバーのための生活習慣病対策」生活習慣病予防にに向けたポイントと具体策(講師:ベネフィット・ワン・ヘルスケアの管理栄養士、田中晶子氏)。

▽研修2(午後3時15分～4時45分)「トラック運輸産業の実情・実態、Q&A」継続雇用の留意点と賃金制度等の検証(講師:グローアツ・社会保険労務士法人の社会保険労務士・運輸業界コンサルタント、岡本重信氏)。

高年齢者の継続雇用の方策を探るとともに、リスクの高い解雇・賃金トラブルなどへの対処・解決法を解説。

参加申し込みは、出席連絡票に記入の上、FAX(03・3351・8790)送信。参加費無料。

▽問い合わせ先 東ト協支部連絡部施設管理課(03・3359・4133)。

「エコ商品ねっと」 貨物運送12社の情報公開 ～東ト協会員6社～

グリーン購入ネットワーク(GPN)は9月30日から、GPNが運営する環境情報サイト「エコ商品ねっと」で、「輸配送(貨物自動車)契約ガイドライン」に基づき、掲載要件をクリアした、貨物運送事業者12社の環境情報を公開している。

荷主が環境負荷削減に積極的に取り組む運送事業者を優先的に採用する日本初の仕組みとなるもので、「ガイドライン」を制定後、初の情報公開。掲載企業は、東京都貨物運送評価制度やグリーン・エコプロジェクト参加など燃費取り組みの第三者評価(1)とISO・グリーン経営認証など環境経営の第三者評価(2)により、タイプA(1+2)取得・タイプB(1)のみ取得・タイプC(2)のみ取得の3タイプに分類される。今回の掲載企業のうち、東ト協会員はタイプA・大出運輸・SBSロジコム・金城運輸・大徳運輸のみで、興業・タイプB・三急運輸の計6社。情報登録・更新は3・6・9・12月の年4回、各月末に公開する予定。GPNでは、キャンペーンを展開し「エコ商品ねっと」への掲載促進を図っていく方針。キャンペーン期間中は、今年度の会費を免除し、掲載料6千円で掲載できるほか、会員加入しなくても情報掲載が可能。

輸配送シンボルマーク運用開始

GPNは「ガイドライン」に基づき、一定の要件を満たす荷主企業や運送事業者が、自社の環境対策のアピールに活用できる「GPN輸配送シンボルマーク」の運用を開始した。

「エコ商品ねっと」 貨物運送12社の情報公開 ～東ト協会員6社～

グリーン購入ネットワーク(GPN)は9月30日から、GPNが運営する環境情報サイト「エコ商品ねっと」で、「輸配送(貨物自動車)契約ガイドライン」に基づき、掲載要件をクリアした、貨物運送事業者12社の環境情報を公開している。

荷主が環境負荷削減に積極的に取り組む運送事業者を優先的に採用する日本初の仕組みとなるもので、「ガイドライン」を制定後、初の情報公開。掲載企業は、東京都貨物運送評価制度やグリーン・エコプロジェクト参加など燃費取り組みの第三者評価(1)とISO・グリーン経営認証など環境経営の第三者評価(2)により、タイプA(1+2)取得・タイプB(1)のみ取得・タイプC(2)のみ取得の3タイプに分類される。今回の掲載企業のうち、東ト協会員はタイプA・大出運輸・SBSロジコム・金城運輸・大徳運輸のみで、興業・タイプB・三急運輸の計6社。情報登録・更新は3・6・9・12月の年4回、各月末に公開する予定。GPNでは、キャンペーンを展開し「エコ商品ねっと」への掲載促進を図っていく方針。キャンペーン期間中は、今年度の会費を免除し、掲載料6千円で掲載できるほか、会員加入しなくても情報掲載が可能。

輸配送シンボルマーク運用開始

GPNは「ガイドライン」に基づき、一定の要件を満たす荷主企業や運送事業者が、自社の環境対策のアピールに活用できる「GPN輸配送シンボルマーク」の運用を開始した。

# 東ト協多摩支部 交通事故・労災防止大会

東京都トラック協会多摩支部(星信久支部長)は、9月24日、立川市のグランドホテルで交通事故・労災防止大会を開催し、支部会員から多数が参加した。大会では「目指せ!! 事故0(ゼロ)」をスローガンに掲げ、交通・労災事故ゼロ宣言に続き、参加者全員で事故撲滅を期してシュプレヒコールした。

支部安全衛生委員会の竹内政司副委員長の司会で、同委員会の飯澤宗光委員長の開会に続き、星支部長が主催者あいさつ。「事故を1件でもなくして」という事故防止の取組んでいる。ドライバーの皆さんには、ゆとりのある運転をお願いしたいと述べた。

大会には、来賓として警視庁立川警察署の井上伸一交通課長、立川労働基準監督署の藤本逸子次長、および東ト協の江森東副会長(事故防止委員長)や水野功副会長(労務厚生委員長)、陸災防東京支部会長の古角豊事務局長が出席。

井上課長はあいさつで、ドライバーの健康管理の重要性などを強調し、また藤本次長は、墜落・転落など荷役作業時の労働災害防止への取り組み強化を訴えた。



江森副会長は、営業用貨物自動車の死亡事故の多くが交差点で発生しているとし、改めて左右の安全確認徹底を呼びかけた。大会では、日本交通事故鑑識研究所アドバイザーの長森紀敏氏が「トラック事故は防げる」防御運転が最良の決め手、をテーマに、ドライバーに「コーダー」などの事故映像を使いながら講話。

長森氏は、事故を起こさせない・事故に巻き込まれない「防御運転」の重要性を強調し、トラック事故防止4か条として①危険予知能力の開発・向上②安全確認の励行③動作急変の排除④脇見・漫然運転に対する警戒を挙げ徹底を求めた。

この後、支部安全衛生委員の山川英男氏が「一致団結し、安全対策の推進、事故ゼロを目指す」との事故ゼロ宣言を読み上げ、参加者全員で「交通事故をなくすぞ、労働災害をなくすぞ」とシュプレヒコールし、事故防止を期

いるとし、改めて左右の安全確認徹底を呼びかけた。大会では、日本交通事故鑑識研究所アドバイザーの長森紀敏氏が「トラック事故は防げる」防御運転が最良の決め手、をテーマに、ドライバーに「コーダー」などの事故映像を使いながら講話。

## 事業用自動車 安全施策目標を設定

関東運輸局はこのほど、平成25年度関東地域事業用自動車安全施策実施目標を設定し、交通安全目標の達成に向けて積極的に推進するよう求めている。

また「DR映像を活用した交通KYT(DVD)や「事業用トラックドライバー研修eラーニングテキスト」などを活用し、効果的に運転者の指導・教育を実施する。さらに、運転者対策の充実・強化を図り、特にSAS(睡眠時無呼吸症候群)の早期発見・治療に取り組みとともに、「事業用自動車の健康管理に係るマニュアル」を活用し、運転者の健康管理の充実を図る。

また「DR映像を活用した交通KYT(DVD)や「事業用トラックドライバー研修eラーニングテキスト」などを活用し、効果的に運転者の指導・教育を実施する。さらに、運転者対策の充実・強化を図り、特にSAS(睡眠時無呼吸症候群)の早期発見・治療に取り組みとともに、「事業用自動車の健康管理に係るマニュアル」を活用し、運転者の健康管理の充実を図る。

また「DR映像を活用した交通KYT(DVD)や「事業用トラックドライバー研修eラーニングテキスト」などを活用し、効果的に運転者の指導・教育を実施する。さらに、運転者対策の充実・強化を図り、特にSAS(睡眠時無呼吸症候群)の早期発見・治療に取り組みとともに、「事業用自動車の健康管理に係るマニュアル」を活用し、運転者の健康管理の充実を図る。

また「DR映像を活用した交通KYT(DVD)や「事業用トラックドライバー研修eラーニングテキスト」などを活用し、効果的に運転者の指導・教育を実施する。さらに、運転者対策の充実・強化を図り、特にSAS(睡眠時無呼吸症候群)の早期発見・治療に取り組みとともに、「事業用自動車の健康管理に係るマニュアル」を活用し、運転者の健康管理の充実を図る。

また「DR映像を活用した交通KYT(DVD)や「事業用トラックドライバー研修eラーニングテキスト」などを活用し、効果的に運転者の指導・教育を実施する。さらに、運転者対策の充実・強化を図り、特にSAS(睡眠時無呼吸症候群)の早期発見・治療に取り組みとともに、「事業用自動車の健康管理に係るマニュアル」を活用し、運転者の健康管理の充実を図る。

## 「事故ゼロ」目指して

この後、支部安全衛生委員の山川英男氏が「一致団結し、安全対策の推進、事故ゼロを目指す」との事故ゼロ宣言を読み上げ、参加者全員で「交通事故をなくすぞ、労働災害をなくすぞ」とシュプレヒコールし、事故防止を期

## 薄暮時間帯の事故防止へ トワイライト・オン運動

薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。

薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。

薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。

薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。

薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。

薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。薄暮時間帯の事故防止へトワイライト・オン運動。

## 事故防止緊急対策 実施中!!

### トラック事故速報 死亡事故

問い合わせ先: 東京都トラック協会 運行管理課 ☎03-3359-3618

漫然運転・ぼんやり運転は絶対にしない!!!

日時	9月25日(水)	2時00分頃発生
場所	江東区内(臨港道路)	
当事者	①事業用大型貨物車(の運転者) × ②事業用普通貨物車(の運転者) × ③事業用中型貨物車(の運転者) <small>乗客は過失の軽重を示すものではありません</small>	
状況		
概要	①事業用大型貨物車は、臨港道路を新木場方向からゲートブリッジ方向に進行中、赤信号で停車していた②事業用普通貨物車に追突、さらにその前方に停車していた③事業用中型貨物車に②事業用普通貨物車が衝突したものの。	

## 違反別 営業用トラック関与の交通事故 (平成25年8月末)

発生件数	安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時不停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	右左折	その他	計	前年比	
												増減	増減率
大型	98	82	26	4	0	20	6	0	1	62	299	+8	+13
中型	201	191	88	25	4	30	16	1	0	125	681	+11	+5
小型	210	194	106	25	4	30	16	1	0	268	854	+11	+13
普通	245	180	150	28	11	38	10	1	3	134	800	-42	-1
合計	544	453	264	57	15	88	32	2	4	321	1,780	-23	+17

注: 営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。

※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

## 「青だけど 車は私を見てるかな」 営業用トラック関与の交通事故の特徴

平成25年8月末現在の都内全域の交通事故発生件数は2万7,480件で、前年同期比3,564件減少し、死者数は98人で同10人の減少となった。営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下段「注」参照)発生件数(本年累計)は、2,279件で同168件減少し、死者数は14人で同6人の増加だった。事故類型別では、右左折時の車両相互事故が274件で同4件の減少で、死者数は4人だった。違反別では、安全不確認による関与事故が567件と最も多く、前方不注意に関する違反が同17件増と大幅に増加している。

# 関交協の 自動車共済

自賠償 + 自動車共済

## セット契約割引実施中!!

詳しくは、関交協・営業推進部 ☎03-5337-1753

自動車共済の掛金が割引になります!

関交協 検索

# 東京運輸支局長表彰

## 東ト協 係 運転者22人が受賞

東京運輸支局長は9月20日、品川区東大井の区立総合区民会館「ぎゅりあん」で平成25年自動車運送事業表彰式を開催し、トラックなど4部門合計で265人を表彰した。

東京都トラック協会関係では22人が受賞。トラック部門を代表してプラム物流の佐藤喜英さんが、小竹支局長から表彰状を授与された。

小竹支局長は式辞で、「自動車運送事業は国民生活、経済活動に欠かすことのできない重要な役割を担っている。より一層の輸送の効率化・高度化、きめ細かな質の高いサービスを提供していくためには、何よりも輸送の安全確保、事故防止を図る必要がある。その評価を高めていくためには個々の運転者の対応が重要」と述べた。

来賓として、東ト協の千原武美副会長が祝辞を述べ、「厳しい道路交通環境の中で責任事故がなく、他の模範であるという厳しい条件をクリアした優秀な運転者ばかり」とし、「輸送業務を担う皆さまは、会社の宝であると同時に業界の宝、国の宝である」と讃えた。

トラック部門の受賞者は次のとおり(敬称略、カッコ内は会社名・支部名)。

新井敦(新聞輸送・千代田)▽安藤和明(同)▽大谷春男(同)▽三浦幸(同)▽佐藤喜英(プラム物流・中央)▽山村俊一(同)▽片山定彦(藤木陸運・品川)▽澤田一



(同)▽野口俊之(同)▽譜久原隆(同)▽松井正(同)▽山本佳彦(同)▽横尾篤美(同)▽阿部登(西濃運輸・同)▽荒井真二(同)▽大坂幸市(同)▽細沼孝一(同)▽渡辺龍司(同)▽和泉田善行(中越運送・同)▽小幡好友(同)▽小林徹也(同)▽小林徹(同)▽杉林時夫(同)▽関裕章(同)▽田嶋和人(同)▽長野浩(同)▽樋口弘幸(同)▽山縣謙一(同)▽横見靖弘(同)▽佐藤順紀(西多摩運輸・環境)▽服部秀三(太盛運輸・同)▽猪狩信博(近物レックス・全流協)▽宇田川卓人(同)▽小野寺良一(同)▽黒岩正親

## 被災地の事業活動に 関する特例延長

国土交通省自動車局は、「貨物自動車運送事業者が東日本大震災の被災地域において事業を行うための車両の移動等に関する取扱いの特例について(通達)を一部改正し、特例措置を平成28年3月31日まで延長した。

事業用トラックの運転者は疲労蓄積を防止する観点から、勤務時間・乗務時間に関する基準(告示)

このため、被災地域において継続的に復旧・復興事業に従事することを可能にする特例として、被災地域に臨時的に拠点を設け、車両や運転者を移動させ業務を行う場合、一定の要件を満たす被災地拠点に144時間以内(所屬営業所に戻る必要がある)に所屬営業所に戻る必要がある。

このため、被災地域において継続的に復旧・復興事業に従事することを可能にする特例として、被災地域に臨時的に拠点を設け、車両や運転者を移動させ業務を行う場合、一定の要件を満たす被災地拠点に144時間以内(所屬営業所に戻る必要がある)に所屬営業所に戻る必要がある。

## 全ト協

### 燃料高騰対策特別融資

10月15日から追加公募

全日本トラック協会は、平成25年度燃料高騰対策特別融資の追加公募を実施する。追加公募は50億円、公募期間は10月15日から11月22日まで(追加公募枠に達し次第、申し込みの受付を締め

め切る)。

申し込みは、各都道府県トラック協会を通じて受け付ける。

融資推薦対象は、各都道府県トラック協会に加入している貨物自動車運送事業者と、その共同体的におよび持株会社(傘下の貨物自動車運送事業者に係る資金調達を行う場合に限り)で、商工組合中央金庫との取引資格がある者(予定を含む)。

融資対象資金については、軽油価格の高騰への対応とともに環境・省エネ対策の推進などのため、ポスト新長期規制適用範囲を超えないもの。適用時期は新型車が同日から、継続生産車は平成27年3月1日から。

21年排出ガス規制適合車として、オフサイクル状態で窒素酸化物(NOX)排出が増大する事例が確認されたことを踏まえ、改正したもの。

都市交通対策を検討するための基礎資料を得ることが目的。大型貨物車の走行上のボトルネック解消など、今後の物流施策の推進の上で重要な調査となることから、協力を呼びかけている。

調査への質問などは調査票に記載の「東京都圏物流資源調査」東京都実施本部へ。東京都圏交通計画協議会ホームページ = <http://www.tokyo-pl.jp/>。

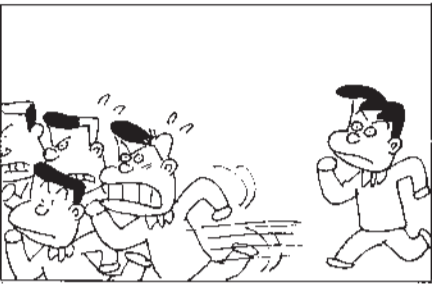
## オフサイクル状態 NOX悪化の 原動機制御禁止

国土交通省は10月1日、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」などを一部改正し、軽油を燃料とする重量車について、

適用対象は、軽油を燃料とする普通自動車、小型自動車(型式指定自動車および国交大臣が定める自動車に限る)のうち、車両総重量が3・5トンを超過するもの。適用時期は新型車が同日から、継続生産車は平成27年3月1日から。

# マハセル君

No.731 芝園 ☆ 友 後 行



東京都圏交通計画協議会(国土交通省関東地方整備局および関東各都府県市などで構成)は10・11月に、第5回「東京都圏物流資源調査」を実施する。

平成21年度「経済センサス」(総務省)をもとに、東京都圏に立地する事業所のうち、物流関係の事業所約12万カ所を無作為で抽出して、実施する公的な調査。

東京都圏の総合的な

# 様々なシーンに合わせたお花のご注文承ります

～ 荷主様の祝賀会、ホテル等の大きな会場へのお祝い花から、突然のご供花まで ～

## 東京都トラック協会会員様特典

東京都23区内及び、多摩地区一部地域のお届けにしましては  
単価5,000円(税別)以上のご利用で  
会員様特別割引 をさせていただきます。



株式会社 二花園

〒154-0015 東京都世田谷区桜新町2-12-22

お問い合わせ先 [担当: 法人営業部]

TEL. 03-3706-4187

# 紅葉の天空を行く

## 秋田内陸縦貫鉄道に乗る

列車であれ飛行機であれ、乗りものはすべて、ある目的で、目的地へ行くための交通手段である。ところが、目的地は特になくて、乗ることが目的、という乗りものがある。

秋田新幹線こまち号で約3時間、JR角館駅の右手が秋田内陸線の角館駅だ。1両だけのディーゼル車が待っている。乗客はほぼ満席。後部席では宴会の始まりなのか、早くも缶ビールの乾杯が始まっている。

秋田新幹線こまち号で約3時間、JR角館駅の右手が秋田内陸線の角館駅だ。1両だけのディーゼル車が待っている。乗客はほぼ満席。後部席では宴会の始まりなのか、早くも缶ビールの乾杯が始まっている。

定刻に出発。市街地を抜けると、窓外は「日本の田舎」の風景に変わる。何でもない普通の、平凡な田舎の風景ほど、都会から来た者どもの、とげとげとした神経を休めてくれるものはない。

秋田新幹線こまち号で約3時間、JR角館駅の右手が秋田内陸線の角館駅だ。1両だけのディーゼル車が待っている。乗客はほぼ満席。後部席では宴会の始まりなのか、早くも缶ビールの乾杯が始まっている。

内陸線では、全29駅のうち16駅にセカンドネームがついている。八津駅は「かたくり群生の郷の駅」、松葉駅は「田沢湖に一番近い駅」という。そこを過ぎたあたりから、車中宴会の団が急に静かになった。一斉に窓に顔を寄せて、「おお、おお」

と歓声を上げる。いつの間にかディーゼル車はスピードを落とし、われわれは紅葉のまっただ中をゆっくり走っている。夏に濃い緑だった風景が、カラーネガのように反対色に変貌している。別世界である。列車はさらに、ほとんど止まるほどに徐行。深い谷を見下ろす鉄橋にさしかかったのだ。真紅に染まった渓谷を、飽きるまで堪能させてくれる。カメラを掲げる人、指さす人にも満たない。

内陸線は全長94.2キロの過疎地を走る。冬は雪に埋まる沿線の住民のかけがえのない足だ。北秋田市と仙北市から補助を受けての運営だが、毎年、存続が論議され、2011年には社長公募で課題になった。新社長に課せられた責務は、年間赤字を2億円以内にとどめること。

上松木内駅に着く。「紙風船上げの駅」である今年1月に当欄で紹介した。その先はまた紅葉の世界。二段トンネルを抜け、阿仁マタギ駅で宴会



天空を行くディーゼル車。今年は10月中旬から下旬が紅葉の旬だという(昨年11月撮影)



視点  
焦点  
文と写真= 写真家・石黒健治  
http://ishigurokenji.com

息をのむ風景だ。上松木内駅に着く。「紙風船上げの駅」である今年1月に当欄で紹介した。その先はまた紅葉の世界。二段トンネルを抜け、阿仁マタギ駅で宴会

阿仁前田駅の温泉。改札を出て10歩で入れる。の人々は降りていった。今夜はマタギの湯の宿でゆっくりするのだろうか。「根子集落入り口の駅」笑内駅の駅名には、思わず笑ってしまう(おかしな読みと読む)。根子集落は源平の落人が開拓した村といわれる。本社のある阿仁合駅。阿仁はかつて、このあたりが日本一の銅山だった。人口も2万人を超えて栄えたが、いまは5千人にも満たない。

そ、ごう百貨店長から転身した酒井社長は、「お客さまにご満足いただく商売としては、デパートも鉄道も同じ」と言い切った。新しいアイデアを連発、昨年は乗り切ることもできた。今年はどうか、心配だ。地元の人にも都会の者にも、内陸線は必要だから。



お土産の人気ナンバーワンは「バター餅」

オリンパス OM-DE-M5 M. スイコーデジタル12-50ミリ



秋田内陸縦貫鉄道 酒井 一郎 社長

### ポケット

#### ひたすら歩く土佐の路にも楽しみが

土佐路は札所間が長くなり、ひたすら海沿いの歩き旅です。土佐の遍路道が「歩き道場」と言われるのは、このためです。足摺岬の三十八番札所へは、三十六番から三十七番札所への58.5キロ(2泊)を打って、80.7キロ(3泊)を歩きます。そして三十九番札所までが52.8キロ(打戻)となります。「打戻」は、次の札所へ行くために通った道を戻ることです。ただ歩くため単調だとの声もありますが、その分だけ見聞は多くなります。歩き遍路の良いところは、自分のペースで歩いて、計画の自由度が高いことです。特に札所間が長い土佐路では、自分の都合に合わせて道々見かける案内板を頼りに「ミニ訪ね歩きの旅」が楽しめます。

極彩色を使い、おどろおどろしい絵で有名な絵金の作品がある絵金蔵。ろうそくの光で映し出す屏風絵に圧倒され、光と闇や影のことを考えてしまいます。

四国遍路紀行 ちよっと一服 第13回

ルポライター 飛鳥井 恭司

二十六番札所・金剛頂寺を打って、室戸岬を越えて国道55号を進みます。紀貫之の泊舟の碑を見て、土佐日記はここからかと思いつながら、古典に悩まされたことがよみがえります。

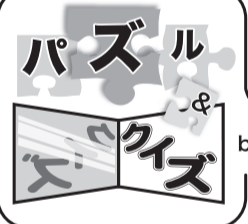
昔の面影が残っている吉良川町は、重要伝統的建造物保存地区で、竹を切り取って作った花入れを飾っている家があちこちにありま

☆インターネットでご応募も可能です。http://www.totokyo.or.jp/ ☆インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東ト協HPトップ「会員の方へ」をクリックし、次ページの「トラック時報パズル&クイズに応募」へ。

★9月10日号「二字熟語パズル」の正解は「意気投合」でした。

### ミニ目

東京にオリンピックがやって来る。2020年、7年後である。そのために東京は、いわば街並みが大きく改造されることになる。住み良くなるのか、それとも? ◆特に、首都高速道路は老朽化が進んでおり、現在、その対策が差し迫っている。課題である。昭和39(1964)年のオリンピックの際には、何がなんでも造らねばと、川の上を利用した高速道路造りが急ピッチで行われた。その道路も時の流れに抗し難く、老朽化が目立つようになってきた。◆小規模の「昭和の歴史」による「東京百年史」を引用して「巨大運動会は都民生活に比べものにならないほど、現在のオリンピック開催は大きな経済効果を開国にもたらすといわれている。都市機能の充実は大いに期待している。経済面でも良い結果が生まれることに期待しよう。



### パズル & クイズ

by 草野 公平

二字熟語のしりとりパズル

二字熟語のしりとりです。「発」からスタートして全ての漢字を二字熟語のしりとりで進むと、最後の熟語は何でしょう? 1つの漢字を音読みと訓読みする場合もあるので、ご注意ください。

スタート

心当送発行楽台  
用配番電車銀屋本  
費天頭道地水人  
食才脳庭路下料材  
間能家録記主亭  
居鳥力画日内役所  
告白説明気案得  
報表近面質答学意  
情代接顔素問見

【応募方法】

官製はがきに、①答え②あなたの住所・郵便番号③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。

●宛先=〒160-0004 新宿区四谷3-1-8 (一社)東京都トラック協会 広報部「トラック時報」係

●締め切り=10月末日 (正解は11月10日号に掲載)